

# 「神経・筋疾患における videofluoroscopic dysphagia scale (VDS) の併存的妥当性と検者間信頼性の検討の研究」

## についてのお知らせ

国立病院機構東埼玉病院では、標記の調査研究を行なっております。

### 1 実施目的について

神経・筋疾患（デュシェンヌ型筋ジストロフィー、筋強直性ジストロフィー、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症）の患者さんにおいて嚥下造影検査に対しての評価方法である VDS が、既存の評価項目と比較して妥当であるかという併存的妥当性を検討する。また神経・筋疾患において VDS の検者間信頼性を検討する。

### 2 実施内容について

2017年1月から2021年3月の期間内に、当院に定期評価目的で入院した前述の神経・筋疾患の患者さんで、嚥下造影検査を施行した患者さんを対象とします。また、各種評価項目（Swinyard's functional ability stage、Neuromuscular Disease Swallowing Status Scale (NdSSS)、The revised ALS Functional Rating Scale (ALSFRS-R)、Unified Multiple System Atrophy Rating Scale (UMSARS)、Unified Parkinson's Disease Rating Scale (UPDRS)、Hoehn&Yahr の重症度分類と Penetration-Aspiration Scale (P-A scale)) も収集させていただきます。なお、この研究は当院内だけで実施します。

### 3 研究責任者

中西 健太（国立病院機構東埼玉病院 臨床研究部 機能回復・成育医療研究室 客員研究員）

### 4 研究期間

この研究の実施が許可された日から2026年3月31日を研究期間とします。

### 5 個人情報およびプライバシーの保護について

この研究の成果は学術的な場でのみ公表します。公表の際には特定の個人を識別できる情報は含まれませんので、個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。この研究のために作成したデータファイルが入力されたコンピュータはインターネットには接続せず、厳重なパスワード管理により情報の漏洩を防止します。データの利用は研究責任者および研究分担者のみが行います。

この研究の対象とされないことを希望される方，この研究にご質問がある方は，大塚 友吉（統括診療部・統括診療部長）にお問い合わせください。